

2020 年度 授業計画(シラバス)

学 科	鍼灸スポーツ学科		科目区分	専門分野	授業の方法	講義
科目名	鍼灸理論		必修/選択の別	必修	授業時数(単位数)	30 (1) 時間(単位)
対象学年	3年生		学期及び曜時限	前期 火曜2限	教室名	2校舎503教室
担当教員	前倉 知典	実務経験と その関連資格				
《授業科目における学習内容》						
鍼灸臨床で用いる器具や手技、衛生処置、リスク、作用機序を学び鍼灸理論・治療効果について説明できる。						
《成績評価の方法と基準》						
定期試験を実施し、100点中60点以上を合格とする。						
《使用教材(教科書)及び参考図書》						
鍼灸理論(東洋療法学校協会 編 教科書検討小委員会 著)、鍼灸臨床最新科学(川喜田健司 矢野忠 編 医歯薬出版社)						
《授業外における学習方法》						
参考書や配布プリントを熟読する事。						
《履修に当たっての留意点》						
国家試験にて配点が多いため不明点を放置しないように。また、鍼灸臨床にてなぜ聞くのか答えられる様にしましょう。また、鍼灸治療はどんな症状に？なぜ効くのでしょうか？患者さんから聞かれた時に説明できるようになります。						
授業の方法	内 容			使用教材	授業以外での準備学習 の具体的な内容	
第1回	講義形式	授業を通じての到達目標	鍼灸概論、鍼の基礎知識を理解する	配布プリント 教科書	参考書・配布プリントを 熟読する事	
	講義形式	各コマにおける授業予定	鍼灸概論、鍼の基礎知識			
第2回	講義形式	授業を通じての到達目標	刺鍼方法と術式、特殊鍼法を理解する	配布プリント 教科書	参考書・配布プリントを 熟読する事	
	講義形式	各コマにおける授業予定	刺鍼方法と術式、特殊鍼法			
第3回	講義形式	授業を通じての到達目標	灸の基礎知識や灸術、鍼灸臨床応用について理解する	配布プリント 教科書	参考書・配布プリントを 熟読する事	
	講義形式	各コマにおける授業予定	灸の基礎知識や灸術、鍼灸臨床応用			
第4回	講義形式	授業を通じての到達目標	リスク管理について理解する 第1～3回の内容理解を深める	配布プリント 教科書	参考書・配布プリントを 熟読する事	
	講義形式	各コマにおける授業予定	リスク管理、講義1～3回の復習を行う			
第5回	講義形式	授業を通じての到達目標	鍼灸治効の基礎(痛み・温度感覚・触圧感覚)について理解する	配布プリント 教科書	参考書・配布プリントを 熟読する事	
	講義形式	各コマにおける授業予定	鍼灸治効の基礎(痛み・温度感覚・触圧感覚)			

授業の方法		内 容		使用教材	授業以外での準備学習の具体的な内容
第6回	講義形式	授業を通じての到達目標	鍼灸治効の基礎(筋の伸張刺激・反射・鍼鎮痛)について理解する	配布プリント 教科書	参考書・配布プリントを熟読する事
		各コマにおける授業予定	鍼灸治効の基礎(筋の伸張刺激・反射・鍼鎮痛)		
第7回	講義形式	授業を通じての到達目標	鍼灸治効の基礎(刺激と反射)について理解する	配布プリント 教科書	参考書・配布プリントを熟読する事
		各コマにおける授業予定	鍼灸治効の基礎(刺激と反射)		
第8回	講義形式	授業を通じての到達目標	鍼灸治効の基礎のまとめを理解する	配布プリント 教科書	参考書・配布プリントを熟読する事
		各コマにおける授業予定	鍼灸治効の基礎のまとめ		
第9回	講義形式	授業を通じての到達目標	鍼灸治効理論(自律神経)について理解する	配布プリント 教科書	参考書・配布プリントを熟読する事
		各コマにおける授業予定	鍼灸治効理論(自律神経)		
第10回	講義形式	授業を通じての到達目標	鍼灸治効理論(生体防御機構)について理解する	配布プリント 教科書	参考書・配布プリントを熟読する事
		各コマにおける授業予定	鍼灸治効理論(生体防御機構)		
第11回	講義形式	授業を通じての到達目標	鍼灸治効理論全体の理解	配布プリント 教科書	参考書・配布プリントを熟読する事
		各コマにおける授業予定	鍼灸治効理論を総括し、鍼や灸をすると生体内でどのような反応		
第12回	講義形式	授業を通じての到達目標	鍼灸関連学説(サイバネティクス・ホメオターシス)について理解する	配布プリント 教科書	参考書・配布プリントを熟読する事
		各コマにおける授業予定	鍼灸関連学説(サイバネティクス・ホメオターシス)		
第13回	講義形式	授業を通じての到達目標	鍼灸関連学説(ストレス・レイリー・圧発汗反射)について理解する	配布プリント 教科書	参考書・配布プリントを熟読する事
		各コマにおける授業予定	鍼灸関連学説(ストレス・レイリー・圧発汗反射)		
第14回	講義形式	授業を通じての到達目標	前期で行なった範囲を確認する	配布プリント 教科書	参考書・配布プリントを熟読する事
		各コマにおける授業予定	復習		
第15回	講義形式	授業を通じての到達目標	前期で行なった範囲を確認し、理解を深める	配布プリント 教科書	参考書・配布プリントを熟読する事
		各コマにおける授業予定	まとめ 評価方法の確認		